

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 003	提案機関名 畜産課
要望問題名 エアロゾルによる畜産臭気の拡散の防止対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 畜産関係団体等情報交換会（平成26年11月25日開催）の研修会において、畜舎よりの臭気成分の拡散はエアロゾルが関係していること、またその対策等も紹介されていた。 そこで本県畜産業においてこのエアロゾル対策を現場で導入するにあたり、想定される課題とその対応について調査等をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 臭気の発生抑制・脱臭技術の開発		
対応の内容等	<p>畜舎の悪臭拡散は、悪臭成分と粉塵に由来することが明らかになりつつあります。畜舎内で発生した悪臭は、通常大気に希釈されることで人間の閾値以下に悪臭濃度が低減しますが、悪臭成分が粉塵に付着した場合、畜舎から数km離れた場所まで拡散するとのデータも存在します。</p> <p>現在当所では、畜舎内での悪臭発生源のひとつであるふん中の悪臭物質を検索し、その悪臭物質低減に向けた検討を進めています。しかし、前述のように畜舎の悪臭成分は、粉塵に付着することで広範囲に拡散することから、悪臭低減とともに粉塵低減対策が必要です。</p> <p>先進事例としては、畜舎内に油を散布することで粉塵の低減及び床面からの再揮散を抑制、畜舎脇に遮蔽壁を設置し、その場所で粉塵をよどませてミストでたたく手法などの検討がなされています。</p> <p>当所では、今後、畜舎粉塵の拡散抑制手法について試験設定し、エアロゾル対策を現場で導入するにあたり、想定される課題とその対応について検討するため、平成28年度より畜舎内の粉塵発生状況などの調査を実施する予定です。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			